



2021年1月27日

各 位

会 社 名 株式会社クエスト
 代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 岡 明男
 (コード番号：2332 東証JQ S)
 問 合 せ 先 取締役 上席執行役員 小泉 裕
 (電話番号：03-3453-1181)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2020年5月14日に公表した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2021年3月期 通期業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,521	742	772	533	103.01
今回修正予想（B）	11,123	863	901	624	120.43
増減額（B－A）	602	121	129	91	—
増減率（％）	5.7	16.3	16.7	17.1	—
（参考）前期実績 （2020年3月期）	10,314	736	768	342	66.17

(2) 修正の理由

前回（2020年5月14日）発表予想において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による先行きの不透明感が極めて強い状況下であり、顧客の業績悪化に伴う投資抑制、対面方式営業活動の難しさによる新規案件獲得の遅延等の発生を見込んでおりましたが、既存顧客に対するサポート体制の強化及び新提案拡大による収益の向上、請負開発の着実な実行を中心とした事業活動に取り組み、クラウドサービス、テレワーク、ネットビジネス等、需要の高い分野に社内のリソースを集中することで前回公表時点の想定よりも好調に推移しております。

売上高については、システム開発事業において、エレクトロニクス分野顧客、金融分野顧客からの開発案件の増加及びデジタルワークプレイス、RPA、ERP等のソリューションが拡大、インフラサービス事業において、エレクトロニクス分野顧客、金融分野顧客、公共分野顧客へのクラウドサービスやセキュリティサービス等が拡大し、期初計画を上回り順調に推移しております。

利益については、前述の売上の増加及び業務改善活動等により、営業利益、経常利益及び当期純利益のいずれも当初の業績予想を上回る見込みとなったため、上記のとおり業績予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想 (2020年5月14日発表)		35円00銭	35円00銭
今回修正予想		38円00銭	38円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	0円00銭	35円00銭	35円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要な課題として認識し、事業環境の変化に柔軟に対応できる企業体質の確立と収益基盤の強化及び積極的な事業展開のための内部留保との調和を図りながら、継続的で安定的な株主還元を行うことを基本としております。

上記の方針及び業績予想の修正等を勘案し、2021年3月期の期末配当予想につきましては、前回予想の1株当たり35円から3円増額し、38円に予想を修正いたします。

以上